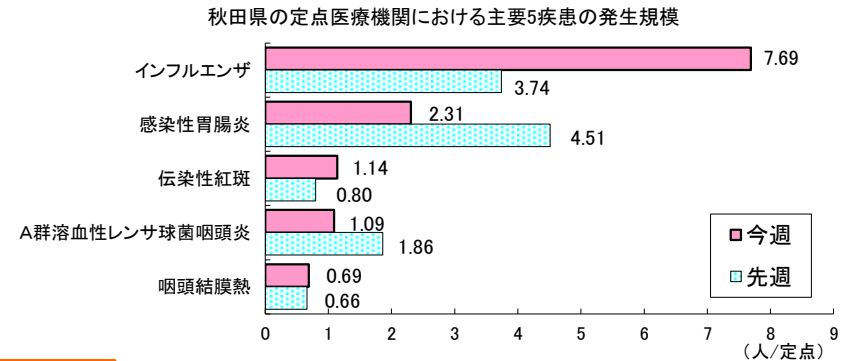




【第52週の発生動向】

< 定点把握対象疾患(週報)・前週比 >

1. インフルエンザは、県全体で2.1倍に増加しています。保健所別では、秋田市、秋田中央、由利本荘、大仙、横手、湯沢で増加、大館、北秋田、能代で減少しています。
2. 感染性胃腸炎は、県全体で49%減少しています。保健所別では、北秋田で増加、秋田市、大館、能代、秋田中央、由利本荘、大仙、横手、湯沢で減少しています。
3. 伝染性紅斑は、県全体で43%増加しています。保健所別では、大館で増加、秋田市で減少しています。



発生報告

今週は、平成30年第52週と平成31年第1週の合併号です。

< 五類定点対象疾患(週報) >

疾患名	秋田県			秋田市			大館			北秋田			能代			秋田中央			由利本荘			大仙			横手			湯沢		
	第51週	第52週	増減	第51週	第52週	増減	第51週	第52週	増減	第51週	第52週	増減	第51週	第52週	増減	第51週	第52週	増減	第51週	第52週	増減	第51週	第52週	増減	第51週	第52週	増減			
RSウイルス感染症	0.31	0.17	↘	0.71	0.57	↘	0.50		↘						0.75		↘	0.25		↘					0.67	↗				
インフルエンザ	3.74	7.69	↗	5.45	10.55	↗	1.71	0.86	↘	3.33	1.67	↘	7.75	4.25	↘	4.67	10.50	↗	1.33	3.50	↗	1.29	9.14	↗	2.40	10.20	↗	6.40	14.40	↗
咽頭結膜熱	0.66	0.69	↗	2.43	1.86	↘				0.50		↘				0.25	↗	1.25	0.75	↘				0.33	↗			1.50	↗	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.86	1.09	↘	2.14	1.29	↘	0.25	0.25		1.00		↘		0.33	↗	5.25	2.50	↘	0.75	1.00	↗	1.50		↘	2.33	1.00	↘	2.50	2.50	
感染性胃腸炎	4.51	2.31	↘	6.57	2.71	↘	1.50	1.25	↘	0.50	2.00	↗	6.67	5.00	↘	2.50	2.00	↘	5.00	1.75	↘	4.25	1.25	↘	3.00	1.67	↘	7.25	3.25	↘
水痘	1.09	0.60	↘	0.43	0.71	↗	1.50		↗				4.00	1.33	↘	2.00	0.75	↘				0.50	0.75	↗	0.33		↘	1.50	1.50	
手足口病	0.06	0.09	↗	0.29		↘		0.75	↗																					
伝染性紅斑	0.80	1.14	↗	0.14		↘	6.75	10.00	↗																					
突発性発しん	0.11	0.23	↗	0.29	0.14	↘	0.50	0.75	↗		0.50	↗							0.25	↗		0.25	↗					0.25	↗	
ヘルパンギーナ		0.03	↗																									0.25	↗	
流行性耳下腺炎																													0.25	↗
川崎病	0.03		↘										0.33		↘															
急性出血性結膜炎										*	*		*	*		*	*										*	*		
流行性角結膜炎	0.71	0.57	↘	1.67	0.67	↘				*	*		*	*		*	*					2.00	↗			*	*			
細菌性髄膜炎															*	*														
無菌性髄膜炎															*	*														
マイコプラズマ肺炎	2.13	2.00	↘	1.00	2.00	↗				8.00	8.00		1.00	1.00		*	*		1.00	2.00	↗	1.00	1.00					5.00	2.00	↘
クラミジア肺炎(オウム病を除く)															*	*														
感染性胃腸炎(ロタウイルスによるもの)															*	*														

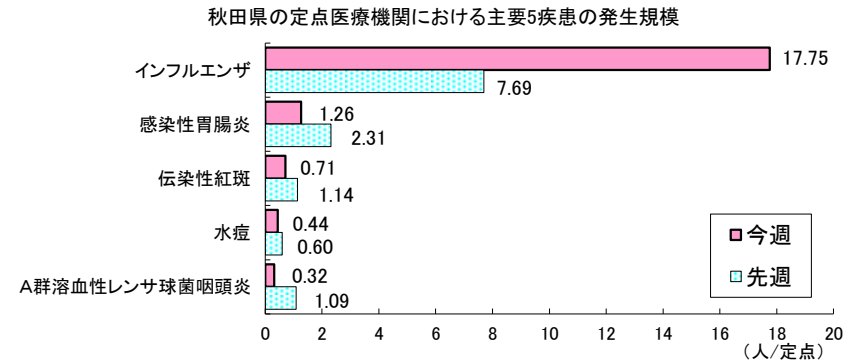
(注) 表の数値は、観測定点としている県内の医療機関から報告された患者報告数を、1定点あたりに換算した人数を示し、前週と比べて「↗」は増加を、「↘」は減少していることを示します。
「*」印は、当該疾病に関わる定点医療機関が指定されていないことを、空欄は全ての定点で当該週における患者の報告数がなかったことを示します。



【第1週の発生動向】

＜定点把握対象疾患(週報)・前週比＞

1. インフルエンザは、県全体で2.3倍に増加しています。保健所別では、全ての保健所で増加しています。
2. 感染性胃腸炎は、県全体で45%減少しています。保健所別では、秋田中央で増加、秋田市、大館、北秋田、能代、由利本荘、大仙、横手、湯沢で減少しています。
3. 伝染性紅斑は、県全体で38%減少しています。保健所別では、秋田市、湯沢で増加、大館で減少しています。



発生報告

＜五類定点対象疾患(週報)＞

(人/定点)

疾患名	秋田県			秋田市			大館			北秋田			能代			秋田中央			由利本荘			大仙			横手			湯沢		
	第52週	第1週	増減	第52週	第1週	増減	第52週	第1週	増減	第52週	第1週	増減	第52週	第1週	増減	第52週	第1週	増減	第52週	第1週	増減	第52週	第1週	増減	第52週	第1週	増減			
RSウイルス感染症	0.17	0.18	↗	0.57	0.17	↘								0.25	↗					0.25	↗	0.67	0.67			0.25	↗			
インフルエンザ	7.69	17.75	↗	10.55	24.70	↗	0.86	5.14	↗	1.67	5.00	↗	4.25	14.50	↗	10.50	17.67	↗	3.50	15.50	↗	9.14	25.71	↗	10.20	23.40	↗	14.40	17.80	↗
咽頭結膜熱	0.69	0.21	↘	1.86	0.50	↘								0.25	↘	0.75	0.75					0.33	0.33			1.50		↘		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.09	0.32	↘	1.29	0.50	↘	0.25		↘				0.33		↘	2.50	1.25	↘	1.00	0.25	↘				1.00		↘	2.50	0.50	↘
感染性胃腸炎	2.31	1.26	↘	2.71	0.83	↘	1.25		↘	2.00	1.50	↘	5.00	3.67	↘	2.00	2.25	↗	1.75	1.50	↘	1.25	0.50	↘	1.67	1.33	↘	3.25	0.75	↘
水痘	0.60	0.44	↘	0.71	0.67	↘		0.25	↗				1.33	0.33	↘	0.75	1.25	↗		0.25	↗	0.75		↘		0.33	↗	1.50	0.50	↘
手足口病	0.09		↘			↘	0.75		↘																					
伝染性紅斑	1.14	0.71	↘		0.17	↗	10.00	5.50	↘																			0.25	↗	
突発性発しん	0.23	0.15	↘	0.14		↘	0.75	0.25	↘	0.50		↘			0.25	↗	0.25	0.75	↗	0.25		↘					0.25		↘	
ヘルパンギーナ	0.03	0.03																									0.25	0.25		
流行性耳下腺炎																														
川崎病																														
急性出血性結膜炎									*	*		*	*		*	*											*	*		
流行性角結膜炎	0.57	0.14	↘	0.67	0.33	↘				*	*		*	*						2.00		↘				*	*			
細菌性髄膜炎															*	*														
無菌性髄膜炎															*	*														
マイコプラズマ肺炎	2.00	0.88	↘	2.00	2.00					8.00	1.00	↘	1.00		↘	*	*		2.00	1.00	↘	1.00	3.00	↗			2.00		↘	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)															*	*														
感染性胃腸炎(ロタウイルスによるもの)														*	*															

(注) 表の数値は、観測定点としている県内の医療機関から報告された患者報告数を、1定点あたりに換算した人数を示し、前週と比べて「↗」は増加を、「↘」は減少していることを示します。
 「*」印は、当該疾病に関わる定点医療機関が指定されていないことを、空欄は全ての定点で当該週における患者の報告数がなかったことを示します。



発生報告(平成30年第52週)

<全数把握対象疾患>

・二類感染症の結核が大仙保健所管内から1人、湯沢保健所管内から1人、報告されました。
 ・五類感染症の百日咳が秋田市保健所管内から2人、横手保健所管内から5人、報告されました。

<全数把握疾患>

類型	疾患名	1週-51週		52週
		全国	秋田	秋田
一類	エボラ出血熱			
	クリミア・コンゴ出血熱			
	痘そう			
	マールブルグ病			
	ラッサ熱			
	ペスト			
	南米出血熱			
	南米出血熱			
二類	急性灰白髄炎			
	結核	21342	136	2
	ジフテリア			
	重症急性呼吸器症候群			
	中東呼吸器症候群			
	鳥インフルエンザ(H5N1)			
	鳥インフルエンザ(H7N9)			
三類	コレラ	4		
	細菌性赤痢	267	1	
	腸管出血性大腸菌感染症	3815	56	
	腸チフス	35		
	パラチフス	23		
四類	E型肝炎	435	4	
	ウエストナイル熱			
	A型肝炎	918		
	エキノコックス症	12		
	黄熱			
	オウム病	6		
	オムスク出血熱			
	回帰熱	6		
	キャサヌル森林病			
	Q熱	3		
	狂犬病			
	コクシジオイデス症	2		
	サル痘			
	ジカウイルス感染症			
	重症熱性血小板減少症候群	77		
	腎症候性出血熱			
	西部ウマ脳炎			
	ダニ媒介脳炎	1		
	炭疽			

類型	疾患名	1週-51週		52週
		全国	秋田	秋田
四類	チクングニア熱	4		
	つつが虫病	417	5	
	デング熱	198		
	東部ウマ脳炎			
	鳥インフルエンザ(H5N1、H7N9を除く)			
	ニパウイルス感染症			
	日本紅斑熱	301		
	日本脳炎			
	ハンタウイルス肺症候群			
	Bウイルス病			
	鼻疽			
	ブルセラ症	3		
	ベネズエラウマ脳炎			
	ヘンドラウイルス感染症			
	発しんチフス			
	ポツリヌス症	2		
	マラリア	49		
	野兎病			
	ライム病	13	1	
	リッサウイルス感染症			
リフトバレー熱				
五類	類鼻疽	2		
	レジオネラ症	2098	9	
	レプトスピラ症	31		
	ロッキー山紅斑熱			
	アメーバ赤痢	816	2	
	ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)	257	2	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	2196	10	
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)	138		
	急性脳炎	634	6	
	クリプトスポリジウム症	25		
	クロイツフェルト・ヤコブ病	215	1	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	669	5	
	後天性免疫不全症候群	1262		
	ジアルジア症	67	1	
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	470	7	
侵襲性髄膜炎菌感染症	35			
侵襲性肺炎球菌感染症	3197	18		
水痘(入院例に限る)	446	7		
先天性風しん症候群				
梅毒	6782	16		
播種性クリプトコックス症	175	1		
破傷風	124			
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症				
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	77			
百日咳	11560	124	7	
風しん	2806	5		
麻しん	274			
薬剤耐性アシネトバクター感染症	23			

発生報告(平成31年第1週)

<全数把握対象疾患>

・四類感染症のA型肝炎が秋田市保健所管内から1人、報告されました。

<全数把握疾患>

類型	疾患名	1週-52週		1週
		全国	秋田	秋田
一類	エボラ出血熱			
	クリミア・コンゴ出血熱			
	痘そう			
	南米出血熱			
	ペスト			
	マールブルグ病			
	ラッサ熱			
	ラッサ熱			
二類	急性灰白髄炎			
	結核	21850	138	
	ジフテリア			
	重症急性呼吸器症候群			
	中東呼吸器症候群			
	鳥インフルエンザ(H5N1)			
	鳥インフルエンザ(H7N9)			
三類	コレラ	4		
	細菌性赤痢	268	1	
	腸管出血性大腸菌感染症	3844	56	
	腸チフス	35		
	パラチフス	23		
四類	E型肝炎	442	4	
	ウエストナイル熱			
	A型肝炎	925	1	
	エキノコックス症	12		
	黄熱			
	オウム病	6		
	オムスク出血熱			
	回帰熱	6		
	キャサヌル森林病			
	Q熱	3		
	狂犬病			
	コクシジオイデス症	2		
	サル痘			
ジカウイルス感染症				
重症熱性血小板減少症候群	77			

類型	疾患名	1週-52週		1週
		全国	秋田	秋田
四類	チクングニア熱	4		
	つつが虫病	455	5	
	デング熱	201		
	東部ウマ脳炎			
	鳥インフルエンザ(H5N1、H7N9を除く)			
	ニパウイルス感染症			
	日本紅斑熱	303		
	日本脳炎			
	ハンタウイルス肺症候群			
	Bウイルス病			
	鼻疽			
	ブルセラ症	3		
	ベネズエラウマ脳炎			
	ヘンドラウイルス感染症			
	発しんチフス			
	ポツリヌス症	2		
	マラリア	50		
	野兎病			
	ライム病	13	1	
	リッサウイルス感染症			
リフトバレー熱				
五類	類鼻疽	2		
	レジオネラ症	2130	9	
	レプトスピラ症	31		
	ロッキー山紅斑熱			
	アメーバ赤痢	838	2	
	ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)	269	2	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	2253	10	
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)	139		
	急性脳炎	657	6	
	クリプトスポリジウム症	25		
	クロイツフェルト・ヤコブ病	219	1	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	687	5	
	後天性免疫不全症候群	1292		
	ジアルジア症	68	1	
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	483	7	
侵襲性髄膜炎菌感染症	37			
侵襲性肺炎球菌感染症	3299	18		
水痘(入院例に限る)	461	7		
先天性風しん症候群				
梅毒	6923	16		
播種性クリプトコックス症	178	1		
破傷風	130			
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症				
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	79			
百日咳	11947	131		
風しん	2917	5		
麻しん	282			
薬剤耐性アシネトバクター感染症	24			



トピック

<伝染性紅斑(リンゴ病)に注意しましょう>

伝染性紅斑は両ほほに特徴的な真っ赤な紅斑(図1)が出現することから、“リンゴ病”という名前でよく知られています。2015年～2016年にかけて全国的に大きな流行が起りましたが、昨年の秋以降も、徐々に患者報告数が増加しています(図2)。2018年第48週以降、秋田県内でも一部の地域に警戒が出ていますので、今後の発生状況に注意して、感染予防に努めましょう。

【症状】

原因となるウイルス(ヒトパルボウイルスB19)に感染すると、約10日の潜伏期間の後に、微熱や咳といったかぜのような症状が現れます。その後いったん症状は治まりますが、1週間ほど経つと今度は両ほほに辺縁鮮明な紅斑が現れ、次いで手足や体幹部にレース状の発疹が広がります。通常、これらの発疹は1週間程度で消失します。

成人では関節炎症状のため、1～2日間ほど歩行が困難となる場合もありますが、多くは合併症を起こすことも無く自然に回復します。

こうしたことから比較的軽い感染症と思われがちですが、妊娠中(特に妊娠初期)の女性が感染すると胎児異常(胎児水腫)や流産を起こす危険性があるため、風しん同様、極めて注意が必要な感染症です。

【感染経路・予防】

主な感染経路は、次の2つです。

- ・飛沫感染: ウイルスを含む患者の咳やくしゃみを吸い込む
- ・接触感染: 咳などのしぶきが付着したものに触れた手をととして口や鼻からウイルスを取り込む

最も感染力が強いのは初期のかぜ様症状のときですが、この時点で伝染性紅斑と診断することは難しく、感染しても症状が現れない不顕性感染も多いことから、知らずに周囲へ感染が拡大していきます。そのため、手洗い等の日常的な対策を徹底することが重要です。



図1 特徴的な両ほほの紅斑
(出典: 国立感染症研究所)

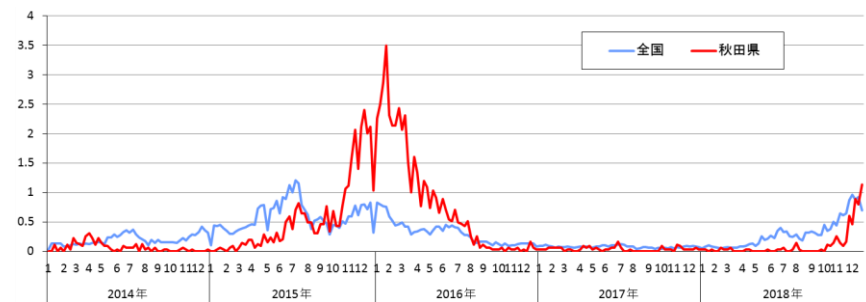


図2 全国と秋田県における伝染性紅斑の定点あたり報告数の推移(2014年1週～2018年52週)

感染症の集団発生報告

伝染性紅斑による集団発生報告が2件ありました。

所在地	施設名称	報告日	有症者数			把握期間
			利用者(園児、入院患者)	職員	計	
大館市	大館市立有浦保育園	12/25	135名のうち 10名	38名のうち 0名	10名	11/24 ~ 12/25
大館市	大館市立城南保育園	12/27	133名のうち 10名	38名のうち 1名	11名	12/13 ~ 12/27



2018年/2019年シーズン (2018年第36週：9月3日～)
インフルエンザ情報

定点あたり患者数の推移(インフルエンザサーベイランス)

インフルエンザの発生規模が、注意報レベルである定点あたり10を超えました。
今後の推移に注意し、手洗い等の感染予防を心がけましょう。

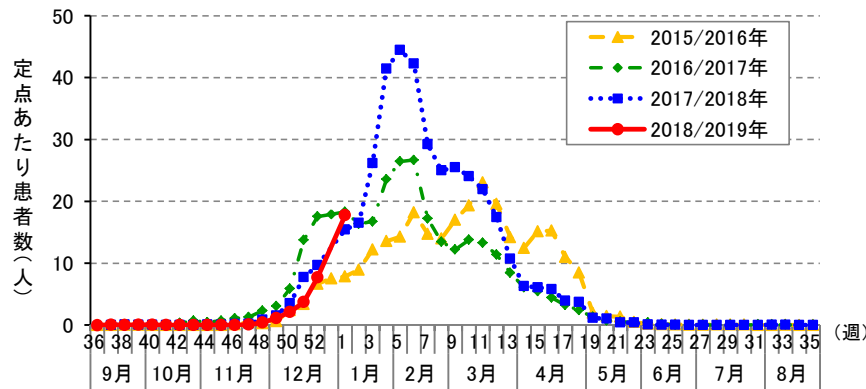


図 秋田県におけるインフルエンザ患者の発生状況

インフルエンザ入院サーベイランス

表: 2018/2019シーズン
秋田県におけるインフルエンザによる入院患者報告数

報告数(人)					
秋田県			全国		
12/24～12/30 (52週)	12/31～1/6 (1週)	累計	12/17～12/23 (51週)	12/24～12/30 (52週)	累計
6	15	30	356	539	1,427

○入院サーベイランスの報告数は、秋田県内8カ所、全国約500カ所の基幹定点医療機関からの報告です。全国の報告数は公表前のため、1週間遅れの数値になります。

社会福祉施設等におけるインフルエンザ集団発生状況

インフルエンザによる集団発生が7件報告されました。

所在地	施設名称	報告日	有症者数		
			利用者(園児、入院患者)	職員	計
秋田市	かんば保育園	12/25	124 名のうち 15 名	45 名のうち 1 名	16 名
湯沢市	障害者総合支援事業所 松風	12/28	52 名のうち 16 名	20 名のうち 2 名	18 名
大仙市	特別養護老人ホーム 愛幸園	12/29	103 名のうち 6 名	55 名のうち 6 名	12 名
秋田市	ふじ保育園	1/4	136 名のうち 15 名	32 名のうち 2 名	17 名
藤里町	グループホーム 美里園	1/4	18 名のうち 7 名	19 名のうち 2 名	9 名
横手市	白梅保育園	12/29	81 名のうち 10 名	18 名のうち 1 名	11 名
横手市	特別養護老人ホーム 鶴寿苑	1/4	50 名のうち 6 名	37 名のうち 5 名	11 名

○今シーズンの報告状況

累計施設数14: 社会福祉施設5、保育所・幼稚園8、病院1、

<参考>

○昨シーズンの報告数

累計施設数170: 社会福祉施設44、保育所・幼稚園119、病院7

※原則、10人以上または利用者の半数以上の発生報告です。



感染性胃腸炎情報

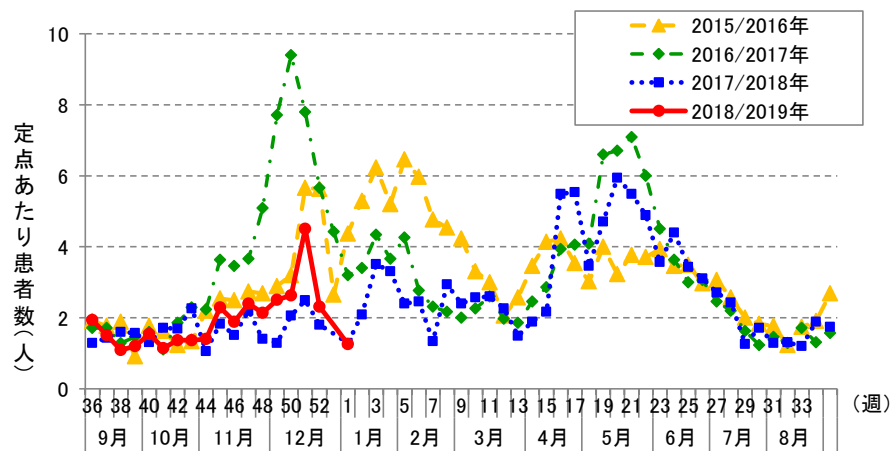


図: 秋田県における感染性胃腸炎の発生状況

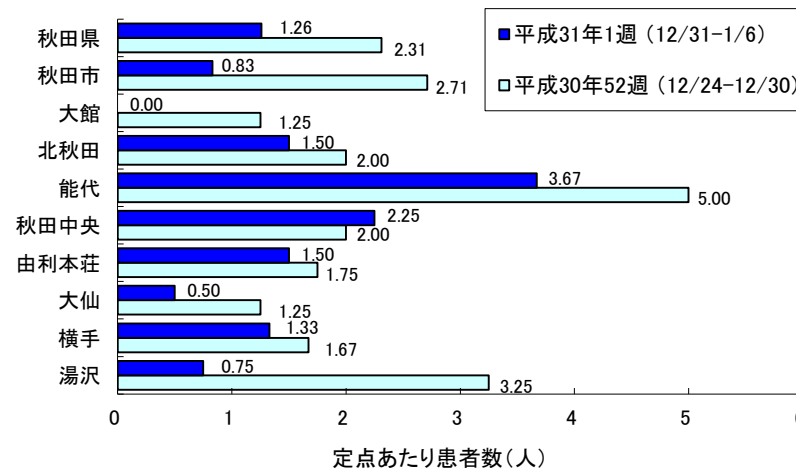


図: 秋田県各保健所における感染性胃腸炎の発生状況

社会福祉施設等における感染性胃腸炎の集団発生について

感染性胃腸炎の集団発生報告はありませんでした。

【感染性胃腸炎の集団発生状況】

○平成30年度 31施設 有症者 453名
保育所・幼稚園 30、病院1

<参考>

○平成29年度 42施設 有症者 637名
社会福祉施設 8、保育所・幼稚園 34

※原則、10人以上または利用者の半数以上の発生報告です。



【注意報・警報の発生状況】

疾患名	発生週	注意報	警報
		保健所(発生規模)	保健所(発生規模)
インフルエンザ	第52週	秋田市(10.55)、秋田中央(10.50)、横手(10.20)、湯沢(14.40)	-
	第1週	秋田市(24.70)、能代(14.50)、秋田中央(17.67)、由利本荘(15.50)、大仙(25.71)、横手(23.40)、湯沢(17.80)	-
水痘	第52週	-	能代(1.33)、湯沢(1.50)
	第1週	秋田中央(1.25)	-
伝染性紅斑	第52週	-	大館(10.00)
	第1週	-	大館(5.50)

■ 注意報・警報の定義

【注意報・警報の定義】

- 1) 注意報: 流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があることを示し、流行の発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性がある(終息していない)ことを示します。
- 2) 警報: 大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。

対象疾患	注意報			警報		
	基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)	対象疾患	注意報	警報
インフルエンザ	10	30	10	伝染性紅斑	-	2
咽頭結膜熱	-	3	1	ヘルパンギーナ	-	6
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	8	4	流行性耳下腺炎	3	6
感染性胃腸炎	-	20	12	急性出血性結膜炎	-	1
水痘	1	2	1	流行性角結膜炎	-	8
手足口病	-	5	2			4

■ 保健所地域

保健所	所管市町村	保健所	所管市町村
大館保健所	大館市、鹿角市、小坂町	由利本荘保健所	由利本荘市、にかほ市
北秋田保健所	北秋田市、上小阿仁村	大仙保健所	大仙市、仙北市、美郷町
能代保健所	能代市、藤里町、三種町、八峰町	横手保健所	横手市
秋田中央保健所	男鹿市、潟上市、五城目町、八郎潟町、井川町、大湯村	湯沢保健所	湯沢市、羽後町、東成瀬村
秋田市保健所	秋田市		